

みんなで考えよう！

公共施設の未来

vol.1

あなたの家は築何年？

みなさんがお住まいの家は築何年になりますか？

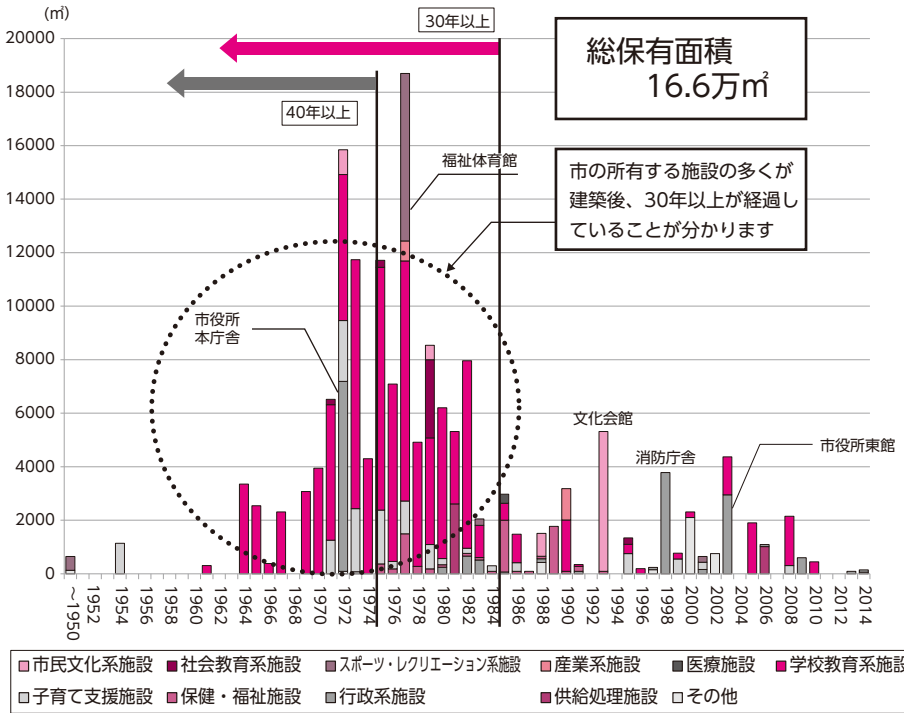
市役所の本館は、昭和47年に建築され、築43年になります。ほかにも保育園や児童館、小中学校など市にはたくさん公共施設があります。みなさんはこれらの施設がいつ建築され、何年経っているか知っていますか？

市の公共施設の多くは市制施行時に建築されていますので30年から40年が経過しています。そして、また同じような時期に集中して更新（建て替え）を迎えます。人口の増加が著しい経済成長期ならば更新も可能かもしれませんが、少子高齢化が進む現状ではすべてを更新することはできません。

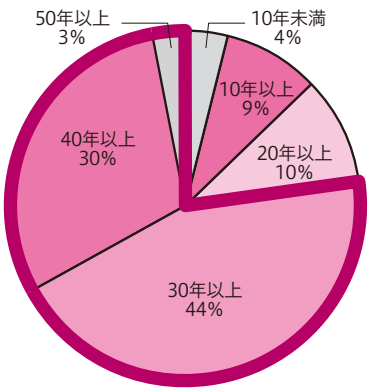
この「公共施設の更新問題」

は、全国のどの自治体にも大きな問題として重くのしかかっています。

●建築年別床面積 (㎡)



●建築年別床面積の割合



77%

建築年ごとに、建てられた床面積を棒グラフで表しています。■色が学校施設です。市制施行時前後に集中して建築されています。

建築後の経過年数を床面積の割合で表したグラフです。建築後30年以上経過した施設が77%を占めます。

市はこの問題に対処していくための第一歩として「豊明市公共施設白書」と「豊明市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

公共施設白書は、将来の公共施設や公共サービスのあり方をみなさんと一緒に検討していくための共通の資料です。公共施設等総合管理計画は、将来にわたって持続可能で良好なサービスを提供していくための基本的な考え方をまとめたものです。

次号以降で白書と総合管理計画の内容を掲載していきます。みなさんも20年後、30年後の豊明市について一緒に考えていきましょう。

